

世界のへき地から

2022年 2 月 16 日

平戸市民病院 池田恵理子

自己紹介

- 生まれも育ちも和歌山県
- 小学生低学年で国際協力に目覚める
- 中学2年生で国境なき医師団を知る



- 2008年 長崎大学医学部入学
- 2014年 卒業
- 2016年 熱研内科(感染症内科)入局
フィリピン研修 1 か月
- 2018年 ガンビア1年
- 2020年 4月～平戸市民病院





長崎大学病院
国境を越えた地域医療支援機構
Office for Cross-border Community Health and Medicine (CCHM)

サイト内検索



メッセージ

国境プログラム

総診プログラム

あごねっと

スタッフ

活動報告

関連リンク

お問い合わせ



「国境を越えた地域医療」に貢献したい医師を募集します。

Office for Cross-border Community Health and Medicine (CCHM)

地域医療



国際医療

地域医療と国際医療



- 限られた資源、設備の中で求められる役割を果たす
- 異なる文化や地域性を理解する
- 医療の枠だけにとらわれずに多職種と連携する
- グローバル化の中で、熱帯病はもはや熱帯地域だけのものではない、その逆もしかり
- 発展途上国は世界のへき地



金曜勉強会： 役に立つ？立たない？ シリーズ

* * *バックナンバー* * *

1

2 デング熱

3

4 髄膜炎菌菌血症

5 破傷風

6 重症急性栄養失調症

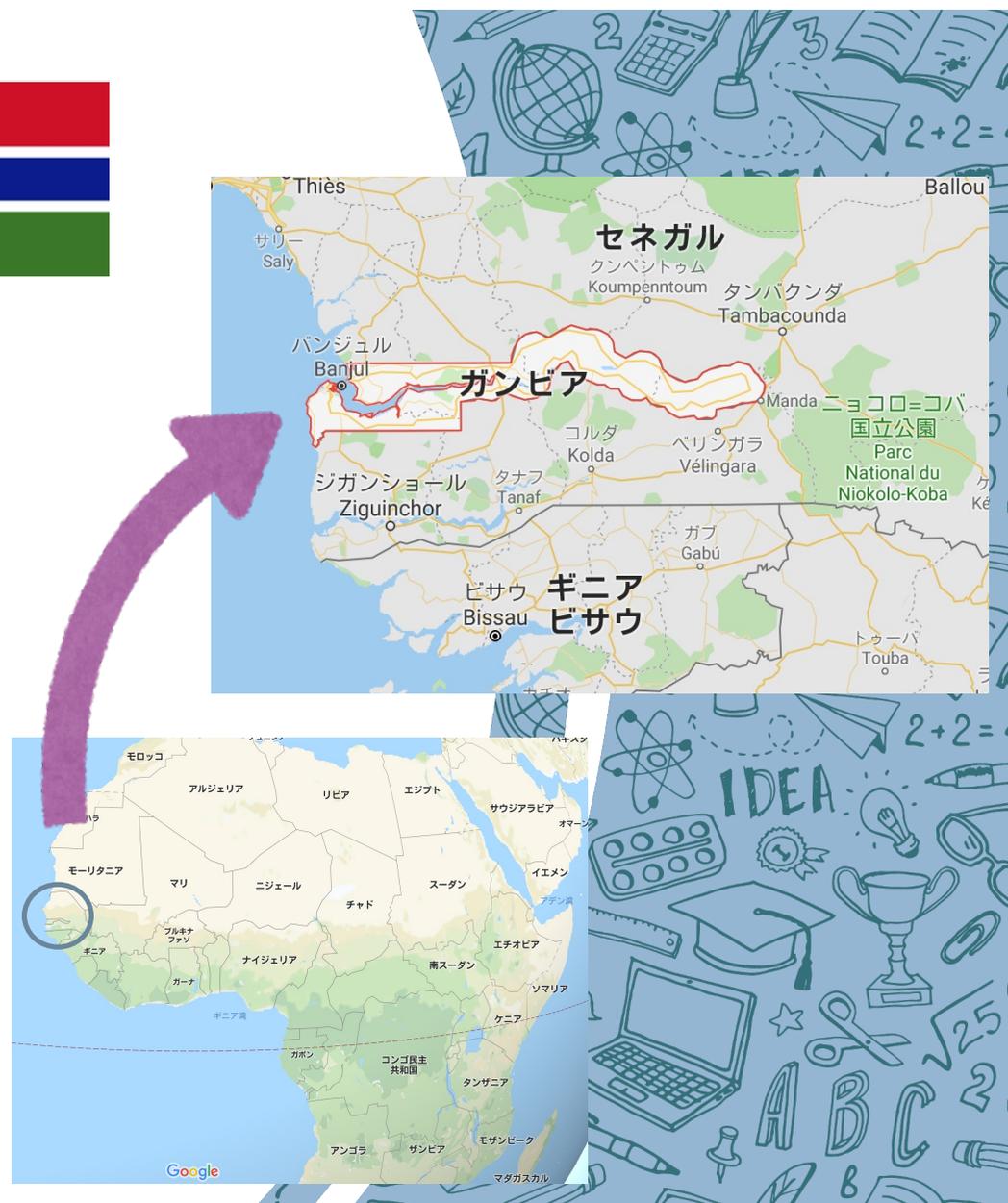
7 HIV

8 小児の結核

ガンビアの基本情報



- 面積：秋田県と同じくらい
- 人口：200万人
- 民族：5つ以上
- 言語：公用語は英語、それぞれの民族にそれぞれの言語あり
- 平均寿命：62.7歳
- 5歳以下の死亡のうち半分は新生児
- 15歳以上の識字率：50%
- 宗教：イスラム9割、金曜の午後はお祈りのため仕事はお休み、豚肉食べない、お酒飲まない
- 季節：乾季と雨季の二季



Medical Research Council Unit The Gambia (MRCG)



- 研究機関付属の診療所
(Clinical Services Department)
- 外来患者：150人/day
- 入院患者：140人/month 6割成人、4割小児
- ベッド：42床
(小児17床、女性11床、男性12床、隔離部屋2部屋)
- 医師：8～10人

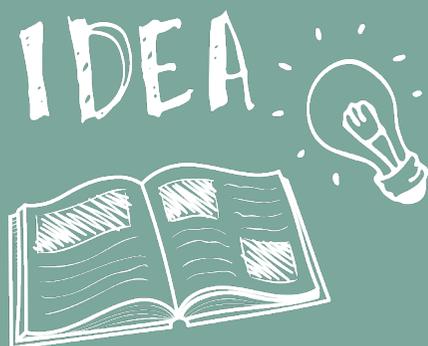
Case 1 25歳男性

- 主訴：全身の痛み
- 現病歴：来院1日前より胸痛、腹痛、背部痛が出現し、夜も眠れないほどであった。痛みのため体動困難となったため、受診。
- 既往歴：● ● ● ●
- 職業：タクシードライバー
- ROS
 - 陽性：全身の痛み、呼吸困難感
 - 陰性：発熱、咳嗽、喀痰、嘔吐、下痢



来院時所見

さて鑑別は...?



《身体所見》

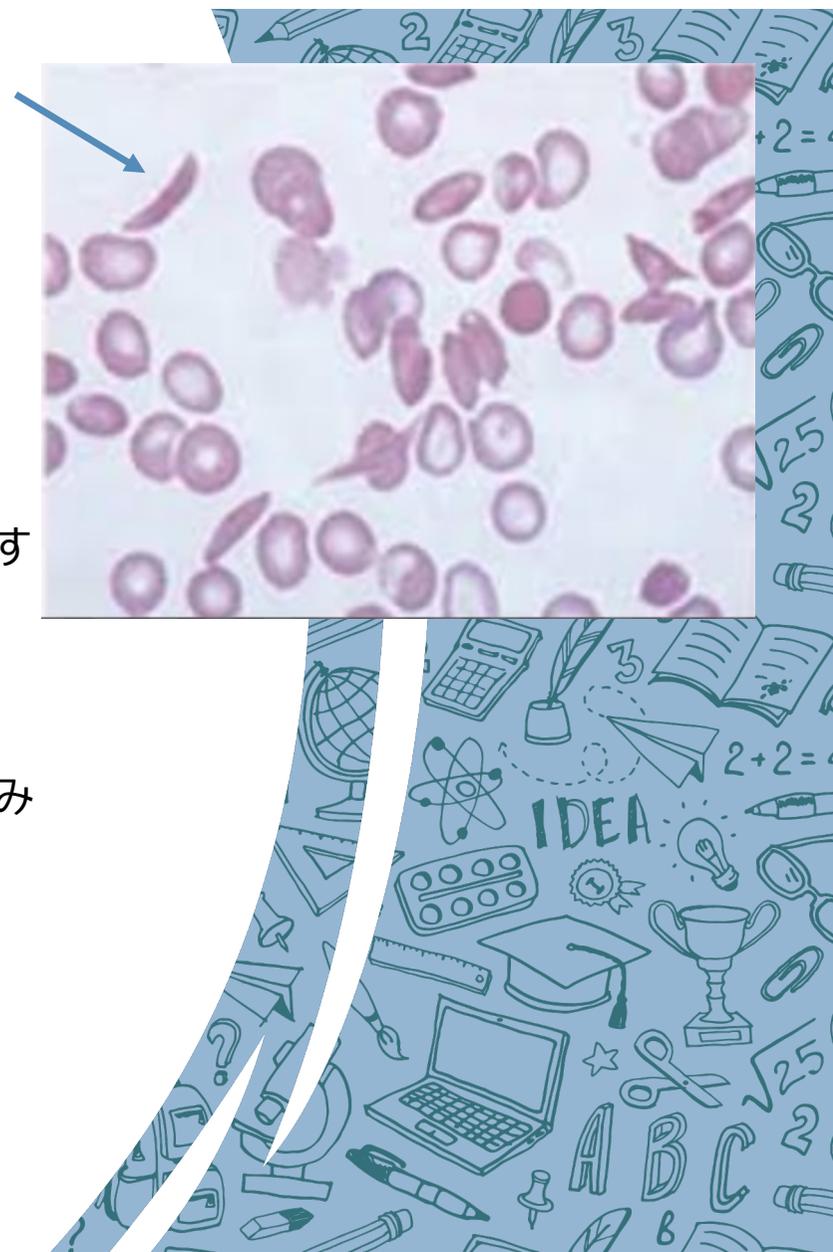
- BT 37.0℃ HR 98/分 BP 110/63mmHg
SpO2 98%(Room Air)
- 痛みに泣いている 四肢末梢は温暖
胸部：聴診上異常なし
腹部：軟、全体的に軽度の圧痛あり
眼瞼結膜に若干の貧血あり、眼球結膜の黄染なし

《検査所見》

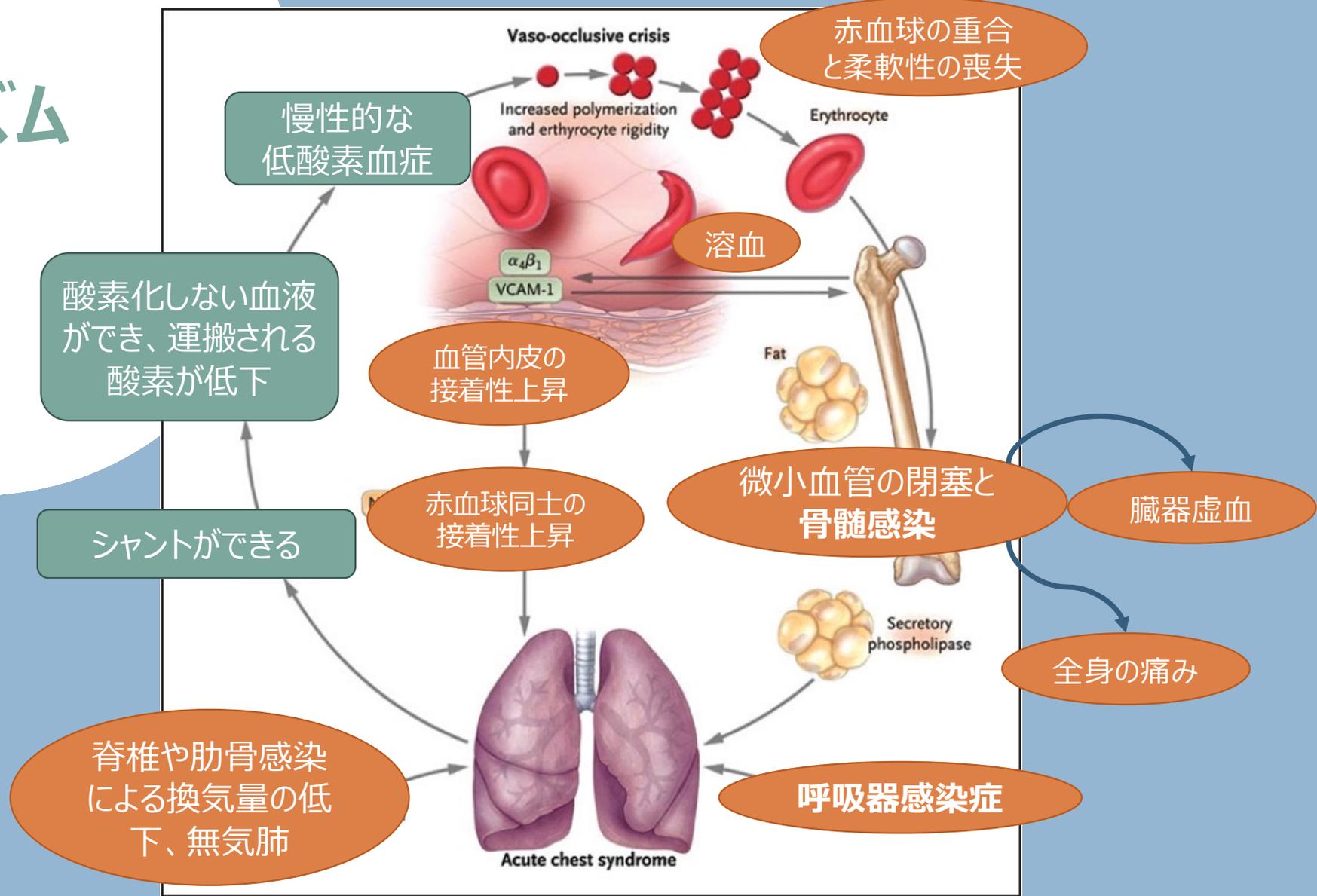
- 血液検査：WBC 13900/ μ L(Neut 72%, Lymph 21%),
Hb 10.5g/dl, PLT 26.5万/ μ L, Na 144mmol/L,
K 4.4mmol/L, Cl 103mmol/L, BUN 6.4mg/dL,
Cr 0.53mg/dl, Gul 124mg/dl, AST 48U/L,
ALT 36U/L, ALP 92U/L, T.Bil 1.36mg/dl,
D.Bil 1.0mg/dl, TP 7.9g/dl, Alb 3.8g/dl
- 胸部Xp：異常なし

鎌状赤血球症！

- ヘモグロビンS遺伝子がホモ接合性に遺伝することによって生じる
- 西アフリカでは**4人に1人**が有病
- 鎌状赤血球は脆弱で、早期に破壊され溶血性貧血を引き起こす
- Type of crises
 - ①painful vascular-occlusive crises：血管閉塞による痛み
 - ②visceral sequestration crises：臓器障害、発育遅延
 - ③chest crises：急性胸部症候群
 - ④heamolytic crises：溶血
 - ⑤aplastic crises：骨髄の無形成

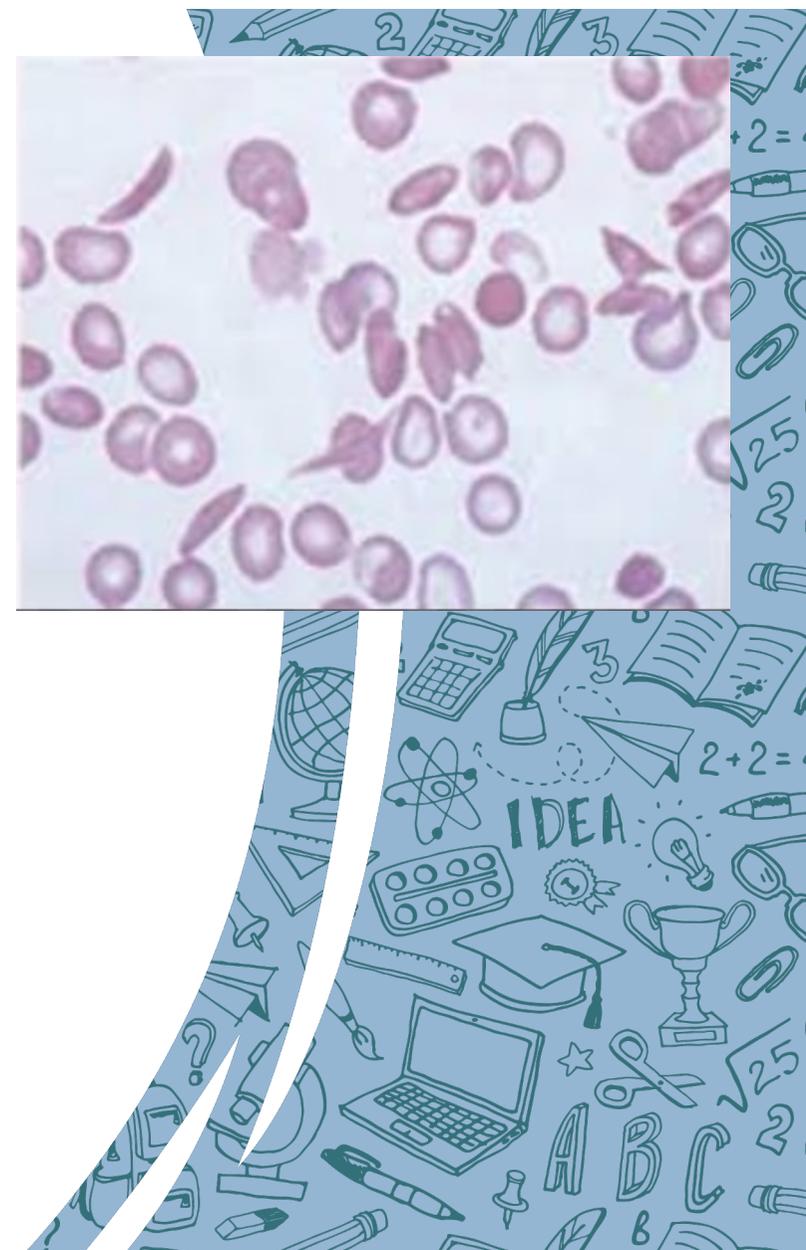


メカニズム



鎌状赤血球症

- 治療：
痛みの管理 + 大量輸液がキホン
感染症を併発している場合が多く、だいたい**抗生剤併用**
- 発作予防：
PenicillinV →感染予防
Mefloquine →マラリア流行期の予防
葉酸 →赤血球産生を補助
ヒドロキシカルパミド →死亡率、発作発生率を下げる
★感染、脱水、低酸素、寒冷環境を避けるよう指導
- 予後：平均寿命45歳前後



フィリピンの基本情報



- 面積：日本と同じくらい
- 人口：1億人
- 民族：5つ以上
- 言語：公用語は英語、それぞれの民族にそれぞれの言語あり
- 平均寿命：71.2歳
- 15歳以上の識字率：95%
- 宗教：カトリック9割
- 季節：夏と秋の二季



サンラザロ病院



- 国立感染症専門病院
- 首都マニラにあるが、スラムの近くに位置する
- ベッド：約500床
- 収入によっては無償なので、貧困層の患者が多い



来院時所見

さて鑑別は...?

IDEA



《身体所見》

- BT 39.2℃ HR 131回/分 RR 40回/分
BP 100/60mmHg SpO2 98%(room air)
- 身長 156cm 体重 51.2kg
- 意識清明 ぐったりとしている
眼瞼結膜やや充血
眼球結膜に軽度黄疸あり
頸部リンパ節腫脹なし
口腔内clear 舌やや乾燥
呼吸音：清、心音：不整、雑音なし
腹部：平坦、軟 心窩部に圧痛あり
浮腫なし 皮疹なし 皮膚はやや黄染している
下腿筋に把握痛あり



《血液検査》

WBC 5960/ μ L (Seg88.9%, Lym6.7%, Mono4.1%)、
RBC 230万/ μ L、Hb 7.0g/dl、Hct 19%、PLT 4.9万/ μ L
Cr 6.70mg/dl、Na 144mEq/L、K 2.0mEq/L
Cl 114mEq/L、TP 2.5g/dl、Alb 1.4g/dl
T-Bil 1.3mg/dl、AST 64U/L、ALT 46U/L

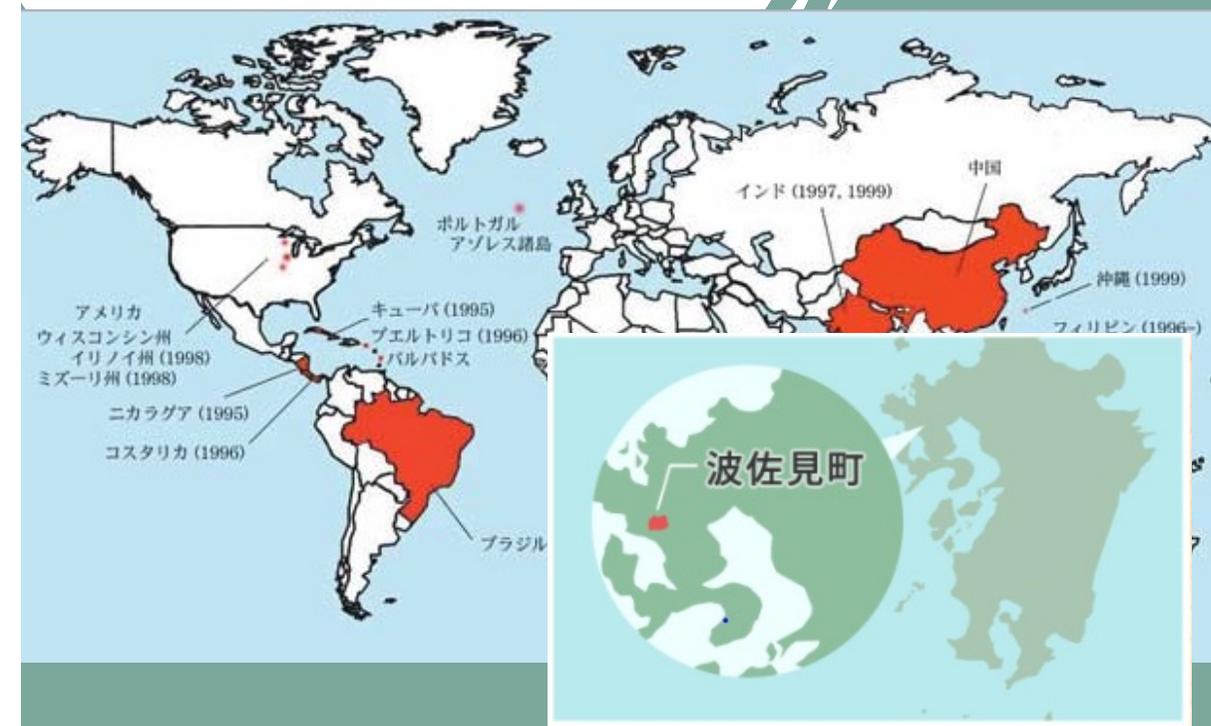
レプトスピラ抗原抗体検査 POSITIVE



- **Leptospira** : スピロヘータ属。家畜類、犬、小さなげっ歯類などの尿中に存在
- 土壌、水、動物などとの接触で感染
- 潜伏期間 : 5-14日
- 4類感染症 診断しだいすぐに報告

- 発生状況 : 毎年15~40例
- 国内感染**9割**(半数以上が沖縄、次いで東京)
- 増水した河川でのレジャーや海外輸入のペット
- 長崎では**波佐見熱**として知られている

- 鑑別 : リケッチア、デング熱、マラリア



レプトスピラ症

- 診断が難しい
 - ①培養：コルトフ培地、EMJH培地
 - ②血清抗体：250種以上の血清型
 - ③PCR
 - 症状が多彩で初診時は鑑別困難
- ※黄疸、急性腎障害、出血傾向の出現した症例をワイル病

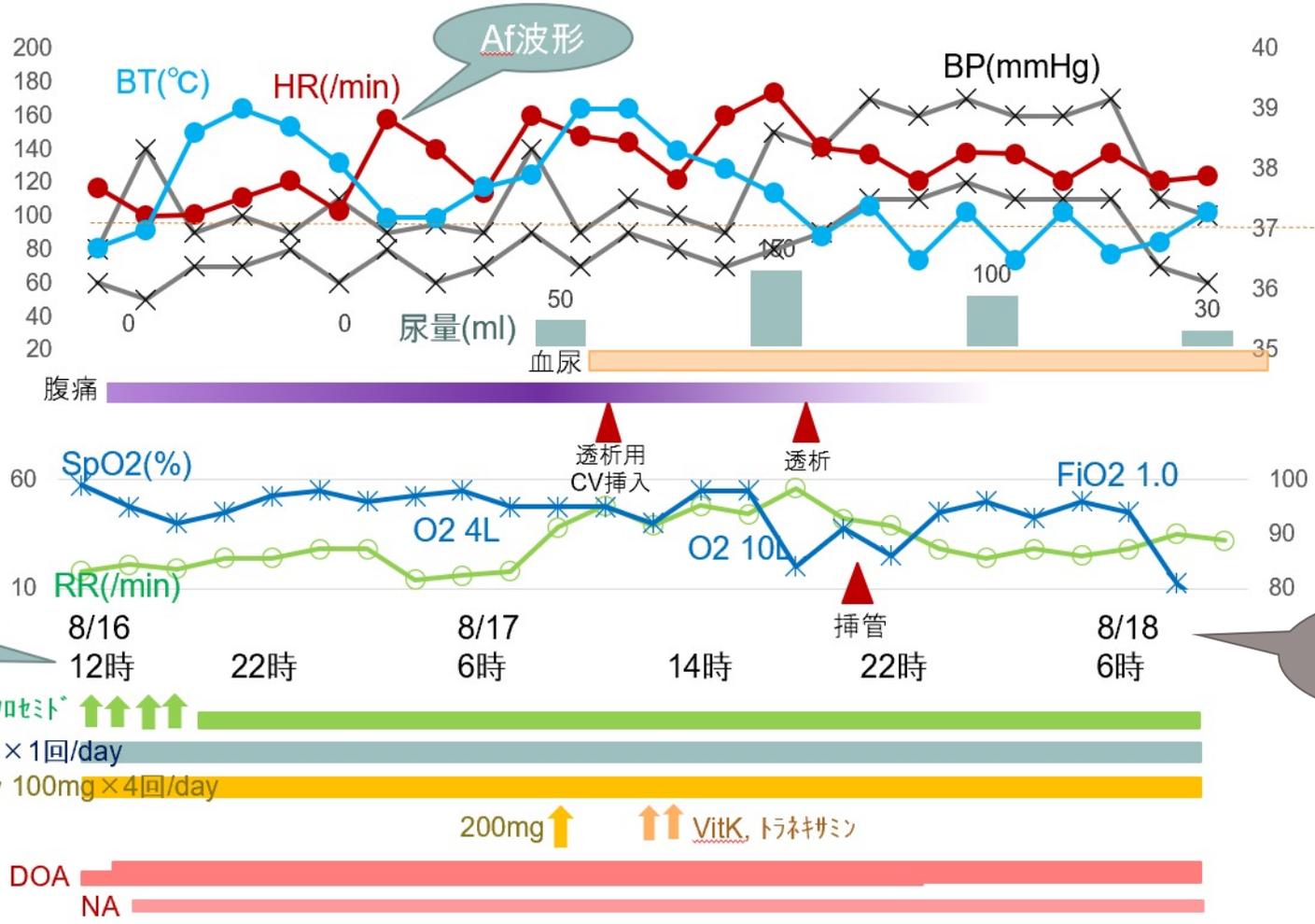
治療：抗生剤＋対症療法

- 抗生剤：CTRX、PCG、DOXY
- 輸液と利尿薬
- 急速に進行する腎不全には透析
- 呼吸不全にはステロイド、挿管

症状・徴候	陽性所見(%)	
	黄疸(+) N=106	黄疸(-) N=102
症状		
発熱	99	100
筋痛	97	97
頭痛	91	82
悪寒	85	84
咽頭痛	79	72
悪心	75	71
嘔吐	69	65
眼痛	46	54
下痢	27	23
尿量減少	25	20
咳嗽	24	15
喀血	9	5
徴候		
結膜充血	99	100
筋圧痛	75	70
肝腫大	80	60
肺病変	24	11
リンパ節腫脹	24	35
点状出血、斑状出血	16	4

Watt G. Leptospirosis. Current Opinion in Infectious Diseases 5, 659-663, 1992.より引用.

経過



死亡

